

# 特定非営利活動法人 そよかせ

2019年（平成31年）度

期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日

## 事業報告

### (1)組織全体に関するまとめ

#### ・計画時間数の達成度

2019年度の派遣実績は、計画時間数(予算)に対し99.4%で、僅かながら目標に達することができませんでした。

年度決算としては黒字となりました。黒字決算とすることができた要因としては、自費サービス利用者の方の公的制度利用への移行・特定処遇改善加算の取得などがあります。

#### ・職員体制の安定化

2018年6月に入職した男性職員1名、2019年1月に入職した女性職員1名が業務を習得し、職員体制がしっかりと安定化しています。数年間課題であった女性利用者の派遣の回復も果たせつつあります。

この現在の男性職員3名、女性職員2名というそよかせ利用者の男女比に適した職員体制を基盤とし、今まで以上に登録ヘルパーへのサポート、利用者の方への訪問やモニタリングが行えるようになりました。職員体制が安定したことによりヘルパーへのバックアップ体制も強化することができ、登録ヘルパーにとっても安心して働ける環境作りにつながっています。

#### ・登録ヘルパーの拡大と課題

2019年度に登録ヘルパーが増え、そして多くの方がそよかせでの稼働を継続しています。

2019年度は8月にヘルパー交流会を開催し、課題の共有、支援充実のための情報共有など活発に話し合う機会を持つことができました。

ヘルパーそれぞれが熱意を持って活躍してくれています。職員よりも利用者の方の生活を支える比重の高いヘルパーもいます。支援に入らないうちの気付きも職員にフィードバックされており、その結果細やかな支援を行うことができます。

しかし、継続課題である「平日の日中から長時間働ける枠」の拡大はまだ解消できていません。

また、週末の外出支援などの希望に対しては対応可能なヘルパーが不足しているため、拡大が課題です。

#### ・イベントの開催と繋がり

諸活動として、毎年恒例となっている「そよかせイベント」は、10月の秋イベントの開催1回のみとなりました。3月開催予定だった春イベントは会場予約の都合で4月開催を予定していましたが、結果的にはコロナウイルス感染予防のため開催中止の判断を致しました。

10月の秋イベントでは、昼の部・夜の部の二部構成でした。利用者の方々、そのご家族、他事業所のヘルパーさん等あわせ、延べ40名の方にご参加頂き、賑やかに楽しく過ごすことができました。ご参加いただいた皆様、ご協力頂いた地域のお店などにも感謝しております。

また、今回はイベント後に開催した学習会と併せ、アンケートを実施しました。頂いた回答から、開催側(理事・職員)と参加者の方とのコミュニケーションをもっと増やす努力が必要であることや、イベントの内容(どういった内容であれば楽しめる、参加しやすい等)への助言など、たくさんのご意見がありました。今後のイベント開催に活かしていきたいと思います。また、アンケート等、多くの方の声を聴くことの重要性を今一度再認識しました。今後もこの取り組みを続けていきたいと思います。

皆さま方との繋がりを大切にして身近な存在の「そよかぜ」でいられるよう、今後も努めていきます。

### 【会員・利用者・登録ヘルパー数 一覧】

会員数	正会員	42名 (+2)	利用者数	制度 対応	総合支援法	男性	21名(+2)	登録ヘルパー数	男性	23名 (-1)
						女性	12名(+3)		女性	6名 (+2)
	賛助会員	14名 (+2)		介護保険	男性	3名(±0)	合計		29名 (+1)	
					女性	1名(±0)				
	合計	56名 (+4)		介助スタッフ派遣事業 (自主)	男性	8名(+1)	延べ 56名(+8) 実人数 44名(+7)			
					女性	11名(+2)				
		合計								

常勤職員数 男性 3、女性 2

※2020年4月1日現在

カッコ内数字は前年度からの増減

登録ヘルパー数は常勤職員を除いた数

### (2)理事会のまとめ

平均毎月1回、計13回理事会を開催しました。

2019年度 理事会開催日	
2019年 5月28日 火曜	2019年 12月20日 金曜
2019年 6月21日 金曜	2020年 1月24日 金曜
2019年 7月19日 金曜	2020年 2月14日 金曜
2019年 8月23日 金曜	2020年 3月13日 金曜
2019年 9月20日 金曜	2020年 4月24日 金曜
2019年 10月18日 金曜	2020年 5月 8日 金曜
2019年 11月15日 金曜	

### (3)各事業に関するまとめ

#### ①障害福祉サービス事業(障害者総合支援法:居宅介護・重度訪問介護)

障害者総合支援法に基づき、障害のある方の日常生活上必要な居宅介護、重度訪問介護を行いました。

居宅介護は、利用者の方が通所や通学から帰宅されてからの夕方にニーズが集中するため、対応人数の制限がかかってしまう状況が続いています。この課題は長年の継続課題であり、更に居宅介護は時間帯ニーズだけでなく制度の性質上短時間の支援になってしまうため、ヘルパーの固定的な稼働を上手

く合致させることが難しいという一面もあります。

全体的な利用については大幅に増加しています。これは、今まで単発的な利用をされていた方が固定的な利用に拡大されたり、お一人お一人の利用回数が少しずつ増加の傾向にあったことが背景にあります。ひと昔前と違い、今はご両親そろって働いていらっしゃるお宅も増えたこと、また以前からご利用くださっていた利用者の方のご家族の高齢化などによりヘルパーによる介護の必要性が高まってきた、利用していた事業所の撤退によりそよかぜの契約時間数の増加等、それぞれの変化がありました。全てではありませんが、ご相談、ご希望にはかなりの割合でお応えすることができました。

また、職員体制の基盤強化、連携などにより、ヘルパーの働き方の希望やキャンセルなどに柔軟に応えられるよう努め、ヘルパーの安心感にも繋がってきました。

## ②地域生活支援事業(障害者総合支援法:移動支援)

障害者総合支援法に基づき、障害のある方の日常生活上必要な移動支援を行いました。

ここ数年、地域生活支援事業(移動支援)のニーズは増加し続けています。そよかぜ利用者の方のご紹介や相談支援事業所からの問い合わせなども驚くほどに増加しました。信頼関係が一番のこの仕事で、口コミによるご紹介やお問い合わせはとても誇らしいことではありますが、これまでと同じく土曜・日曜に外出の希望が集中しており、全てのご希望にお応えするには至っていません。それでも4名の方の新規契約に至りました。ご利用頻度など皆様にご相談・ご協力頂きながら可能な中で調整しています。

ヘルパーが増えたことで、利用者の方の新しい出会い、関わり、楽しみが広がりました。外出先での利用者の方の強いこだわり等に対する支援の方法や、社会への理解促進などの課題も必ずうまれるので、ご本人・ご家族・ヘルパーだけでなく相談支援事業所など関係支援者との情報共有・相談の機会を多く作り、必要な場合は職員が同行したり外出先の開拓や課題解消を丁寧に検討しました。全てがスマートに解決したわけではありませんが、向き合い模索していく過程こそ大切にするべきだと感じています。こうした取り組みで、支援内容や様々な課題などを定期的にチェックすることができました。

## ③介助スタッフ派遣事業:(自主事業:自費サービス)

障害者総合支援法の利用が困難な障害のある方の日常生活上必要な介助援助などを行いました。

これまで同様、制度の枠では収まらないニーズに柔軟にお応えできました。主に制度受給されていない方の外出支援のご希望が多くありました。2018年後期より人員が増加したため、ご利用希望があってもなかなかお応えできずにいた方々への支援が回復できた一年でした。

また、これまでご家族での介護が中心で公的制度を受給されていなかった方が、ヘルパー支援増加に伴い制度利用に移行されたり、施設入所などで生活状況が変化されたりすることもあり、全体の利用ニーズは減少傾向にありました。その分、土日祝日の余暇のご希望が増え、前述の移動支援のニーズ同様、週末の人員不足が課題となっています。

## ④介護保険事業:訪問介護

介護保険法に基づき、65歳以上の方の日常生活上必要な介護を行いました。

新規利用者の方の拡大には至りませんでした。2019年度は管理者やサービス提供責任者が利用者の方のご自宅にモニタリング等に何う時間の確保に努めました。細やかな観察やヘルパーとの連携の中で、利用される方のニーズに早く気づき、介護の増加の必要性や福祉機器を取り入れる必要性をケアマネジャーに伝え、介護認定の見直しやサービス拡大につなぐこともできました。

介護保険事業という性質上、高齢の方が利用される中、体調不良や高齢者特有の疾病、生活能力の低下など、状況変化における課題が次々と判明し、職員も共に悩みながら「長い人生を生きて来られた先輩方の尊厳」をおおいに考える機会を頂いた一年でした。利用者の方、ご家族の方に安心していただくよう、ケアマネジャーや行政機関とも積極的に連携しました。

【各事業サービス別 派遣時間数結果】

	2019年度当初計画	2019年度実績		参考)2018年度実績	
① 障害福祉サービス:居宅介護	1,320.0 時間	14 名	1,620.6 時間	12 名	1,240.5 時間
:重度訪問介護	6,590.0 時間	4 名	5,651.0 時間	4 名	6,229.0 時間
② 地域生活支援:移動支援	2,260.0 時間	28 名	3,062.5 時間	24 名	2,123.5 時間
③ 介助スタッフ派遣:自主	1,080.0 時間	19 名	932.5 時間	16 名	1,008.0 時間
④ 介護保険:訪問介護	1,100.0 時間	4 名	1,010.5 時間	6 名	1,165.5 時間
計	12,350.0 時間	実人数 44 名	12,277.1 時間 計画比 99.4%	実人数 37名	11,766.5 時間

(4)その他の報告・諸活動

①学習会の開催


2018年度から法人主体の学習会を再開することができ、2019年度も公開学習会を開催しました。2019年度の学習会のメインは「利用者のおもい」というテーマとし、XXXXXXXXXXのXXXXXXXXXXのXXXXXXXXXX氏を講師にお招きし、ご自身の半生を語って頂き、参加された方からはとても好評でした。

また関係施設への見学会、外部学習会にも参加しました。内容は必ず参加者が報告し、職員全員で共有しています。外部学習会への参加は、参加したいという希望があっても開催日時や場所の条件、他業務との兼ね合い等で必ずしも希望通り参加できないという課題もあります。年度末はコロナウイルスの影響で、参加予定だった学習会や研修が軒並み中止になり残念でした。

3月の登録ヘルパー契約更新の時期にはヘルパーひとりひとりと面談を行い、派遣の希望や利用者情報の共有、業務における守秘義務の徹底などについての研修を行いました。

<内部・外部学習会、研修会等への参加>

日付	内容	主催・講師	参加者
8月7日	「障害者の地域生活」 施設から地域移行への課題・実践当事者の挑戦	主催: NPO法人自立の家	<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>
11月7日	そよかぜ公開学習会「当事者のおもい」	主催:そよかぜ 講師: <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>	11名
11月26日	こすもす生活園訪問		<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>
12月1日	ふれあいフェスタ障害者週間参加		<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>
2月5日	都立永福学園見学会		<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>

2月18日	「改めて障害者虐待防止を考えよう」	主催： 杉並区障害者施策課	
-------	-------------------	------------------	---

## ②災害対策

災害対策マニュアルの作成については、2018年度から引き続きとりかかることが出来ませんでした。

従来より感染症対策については取り組んでおり、それを土台にして2月から新型コロナウイルス対策を厚生労働省や行政の発表に準ずる形でその都度行いました。今後も継続していきます。

## ③イベント・ヘルパー交流会の開催

会員、利用者、登録ヘルパー、家族の方との交流に主眼をおいた交流会を行いました。

前述通り、2019年度はヘルパー交流会を開催することができました。それぞれの支援の中での課題を出し合ったり、支援の拡大について全員で知恵を出し合ったりする有意義な時間となりました。

恒例のそよかぜイベントの開催は秋の1回となりました。

秋イベントは「気軽なお喋り会＝シャベリバ」を昼の部に、「親睦を兼ねた飲み会」を夜の部に行いました。昼の部のみ参加、夜の部のみ参加、一日通して参加…など、参加者の皆様がご自身の無理のないペースで参加してくださいました。今回は、小テーブル制にして自由に席を移動してもらったり、夜の部はノンアルコール派の方にもお料理を楽しんで頂きやすいように中華料理店にしたり、これまでの方法や場所に拘らず変化をつける努力をしました。今後も試行錯誤しながら柔軟に変化を取り入れて、多くの方に参加して頂きやすいイベント開催に努めてまいります。

「年に数回、そよかぜのイベントがあるから会える人がいる。そのためにもイベントは続けてほしい」と言ってくださる方もいらっしゃいます。単に「楽しい時間を提供する」だけでなく、人と人との繋がりにとって重要な役目を担っていると感じます。

### <イベント・ヘルパー交流会の開催>

日付	内容	人数
8月20日	ヘルパー交流会	11名
10月19日	秋イベント 昼の部:「シャベリバ」夜の部:「しんぼく飲み会」 高円寺交流館にておしゃべり会・中華料理店にて親睦会	延べ 40名

## ④募金箱の設置

障害のある方のグループホーム設立などに向け、資金集めの一環として募金箱「そよかぜ募金 BOX」の活動を行いました。現在ご協力頂いている方には継続して設置ご協力頂きましたが、残念ながら近隣一般店舗への設置拡大はできませんでした。

【実績】2019年度 年間回収数: 5ヶ所 計 7,590円

(【参考】2018年度実績 年間回収数: 2ヶ所 計 24,953円)

## ⑤会報(通信)発行

会員の方への情報発信を目的として、会報を季刊発行しました。

法人の取り組みを会員の方にも共有して頂くこと、情報交換の場の一つとなることに主眼をおいて作成しました。イベント報告での写真などの掲載、利用者の方の利用の様子を紹介文などについては、これまで以上に個人情報掲載のご了解を明確に頂くことを徹底しています。

また、関係者の方からご寄稿頂く機会を広げ、多くの方の情報のキャッチボールとなるように心がけています。

#### <会報の発行>

発行日時	号数	掲載記事	発行数
7月23日	第42号 2019年夏号	利用者さんからのメッセージ 第18回通常総会報告 等	168箇所 180部
12月26日	第43号 2019年秋号	公開学習会報告 秋イベント報告 等	171箇所 188部
3月26日	第44号 2020年春号	MY TALK「それぞれの春」 あれこれぼーと 等	170箇所 185部

#### ⑥事務局会議(事業・事務運営)の開催

毎月1回、計12回、職員と理事の参加による事務局会議を開催しました。

総会で承認を受けた計画は、理事会での検討を経て事務局会議により実行にうつされます。事務局会議から理事会への提案もなされます。

事務局会議は、ホームヘルプ事業会議(以下、事業会議)と事務運営会議の2つがあります。

しかし、2019年度は派遣業務増加のため会議を2回に分けて開催することが難しく、全回合同会議としました。2019年度は支援内容の検討・業務方法の見直し・衛生管理の徹底などについて積極的に話し合い、実施しました。

- ・事業会議では、利用者全員の派遣状況の報告が行われ情報が共有されます。

課題や問題点などを会議で話し合うことで、その後の解決へと繋げました。また外部研修や関係事業所との合同会議等の報告により情報を共有しました。

- ・事務運営会議では、イベントや学習会の実行、毎月の派遣時間の推移の確認、会計の確認を行っています。

2019年度 事務局会議(事業・事務運営) 開催日			
2019年 4月19日	事業・事務運営合同	2019年10月11日	事業・事務運営合同
2019年 5月24日	事業・事務運営合同	2019年11月22日	事業・事務運営合同
2019年 6月14日	事業・事務運営合同	2019年12月13日	事業・事務運営合同
2019年 7月12日	事業・事務運営合同	2020年 1月31日	事業・事務運営合同
2019年 8月30日	事業・事務運営合同	2020年 2月21日	事業・事務運営合同
2019年 9月13日	事業・事務運営合同	2020年 3月27日	事業・事務運営合同

2019年(平成31年)度 活動決算書

2018年4月1日～2019年3月31日

収入の部		支出の部		単位 円
科 目	金 額	科 目	金 額	
1. 会員費	150,000	1. 事業費		
2. 寄付金	66,610	(1) 居宅介護事業	21,290,057	
3. 派遣事業介助料等	2,083,500	(2) 地域生活支援事業	7,126,895	
4. 居宅介護事業	20,404,456	(3) 介助スタッフ派遣事業	1,766,657	
5. 処遇改善加算(居宅)	4,940,850	(4) 介護保険事業	4,071,194	
6. 地域生活支援事業	8,484,399	<b>事業費合計</b>	<b>34,254,804</b>	
7. 介護保険事業	4,304,157	2. 管理費		
8. 処遇改善加算(介護)	542,503	(1). 人件費		
9. 雑収入	17,854	職員給与等	3,837,555	
	0	担い手給与等	560,816	
		(2). 法定福利費	331,075	
		(3). 退職金共済掛金	66,140	
		(4). 福利厚生費	59,738	
		(5). 交通費 通勤手当	183,637	
		担い手分	64,704	
		(6). 通信費	35,953	
		(7). 慶弔費	0	
		(8). 保険料	19,064	
		(9). 修繕費	0	
		(10). 水光熱費	45,309	
		(11). 印刷費	37,917	
		(12). 消耗品費	6,289	
		(13). 公租公課	13,538	
		(14). 広告費	0	
		(15). 諸会費	2,000	
		(16). 研修費	186,000	
		(17). 備品費	0	
		(18). 企画交流費	6,257	
		(19). 雑費	131,951	
		(20). 顧問料	0	
		(21). 会議費	48,229	
		(22). 事務所家賃	433,965	
		(23). リース料	49,565	
		<b>管理費合計</b>	<b>6,119,700</b>	
		<b>雑損失</b>	<b>3,789</b>	
		<b>当期支出合計</b>	<b>40,378,293</b>	
		<b>当期収支差額</b>	<b>616,036</b>	
		<b>前期繰越収支差額</b>	<b>5,515,084</b>	
<b>当期収入合計</b>	<b>40,994,329</b>	<b>次期繰越収支差額</b>	<b>6,131,120</b>	

貸借対照表

単位 円

資 産	金 額	負債・資本	金 額
<b>流動資産</b>		<b>流動負債</b>	
現金	71,550	預かり金 所得税	14,168
銀行普通預金	80,168	預かり金 雇用保険料	19,429
郵便貯金 そよかぜ	7,070	預かり金 社会保険料	238,573
労働金庫	3,941,386	預かり金 住民税	48,500
未収金	4,177,505	預かり金	2,000,000
立替金	0	仮受金	48,000
前払金	0	未払金	8,587
事務所移転積立預金	0		
郵便振替	127,698	<b>流動負債合計</b>	<b>2,377,257</b>
		借入金	0
<b>流動資産合計</b>	<b>8,405,377</b>	<b>借入金合計</b>	<b>0</b>
<b>固定資産</b>		<b>剰余金</b>	
敷金	98,000	繰り越し剰余金	5,515,084
車輛運搬具	0	当期剰余金	616,036
出資金	5,000	<b>剰余金合計</b>	<b>6,131,120</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>103,000</b>		
<b>繰延資産</b>			
礼金	0		
<b>繰延資産合計</b>	<b>0</b>		
<b>合 計</b>	<b>8,508,377</b>	<b>合 計</b>	<b>8,508,377</b>

2020年3月31日現在

財務諸表の注記

・重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。



<b>財産目録</b>			単位	円
科 目	金 額			
<b>I. 資産の部</b>				
<b>1. 流動資産</b>				
現金預金				
現金	71,550			
普通預金 みずほ銀行高井戸特別出張所	80,168			
郵便通常貯金 そよかぜ	7,070			
労働金庫	3,941,386			
未収金	4,177,505			
立替金	0			
事務所移転引当預金	0			
郵便振替	127,698			
<b>流動資産合計</b>		<b>8,405,377</b>		
<b>2. 固定資産</b>				
建物付属設備	0			
什器設備	0			
敷金	98,000			
保証金	0			
出資金	5,000			
電話加入権	0			
車両運搬具	0			
<b>固定資産合計</b>		<b>103,000</b>		
<b>3. 繰延資産</b>				
礼金	0			
<b>繰延資産合計</b>		<b>0</b>		
<b>資産合計</b>			<b>8,508,377</b>	
<b>II 負債の部</b>				
<b>1. 流動負債</b>				
預かり金 職員に対する源泉所得税	14,168			
預かり金 雇用保険料	19,429			
預かり金 社会保険料	238,573			
預かり金 住民税	48,500			
預かり金	2,000,000			
仮受金	48,000			
未払金	8,587			
<b>流動負債合計</b>		<b>2,377,257</b>		<b>2,377,257</b>
<b>2. 固定負債</b>				
<b>固定負債合計</b>				
<b>負債合計</b>			<b>2,377,257</b>	
<b>正味財産の部</b>			<b>6,131,120</b>	

2020年3月31日現在

## 平成31年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 そよかぜ

## 1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）  
各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

## 2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	住所又は居所	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○理事・監事	マツオ ミノル	[REDACTED]	平成31年4月 1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日
		松尾 實			年 月 日
2	○理事・監事	イワサ ヒデユキ		平成31年4月 1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日
		岩佐 秀行			年 月 日
3	○理事・監事	コバヤシ ヒロミ		平成31年4月 1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日
		小林 祐美			年 月 日
4	○理事・監事	アリサワ タダシ		平成31年4月 1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日
		有澤 忠			年 月 日
5	○理事・監事	イワミ ヒロユキ		平成31年4月 1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日
		岩見 浩幸			年 月 日
6	○理事・監事	キハラ ススム	平成31年4月 1日 ～ 令和2年3月31日	年 月 日	
		木原 勇		年 月 日	
7	理事・監事			年 月 日	
				年 月 日	
8	理事・監事			年 月 日	
				年 月 日	
9	理事・監事			年 月 日	
				年 月 日	
10	理事・監事			年 月 日	
				年 月 日	

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 そよかぜ

	氏 名	住 所 又 は 居 所
1	松尾 實	
2	岩佐 秀行	
3	小林 祐美	
4	志村 紀久雄	
5	木原 勇	
6	岩見 浩幸	
7	遮那 美さき	
8	田中 崇	
9	有澤 忠	
10	宮坂 知孝	
11		
12		